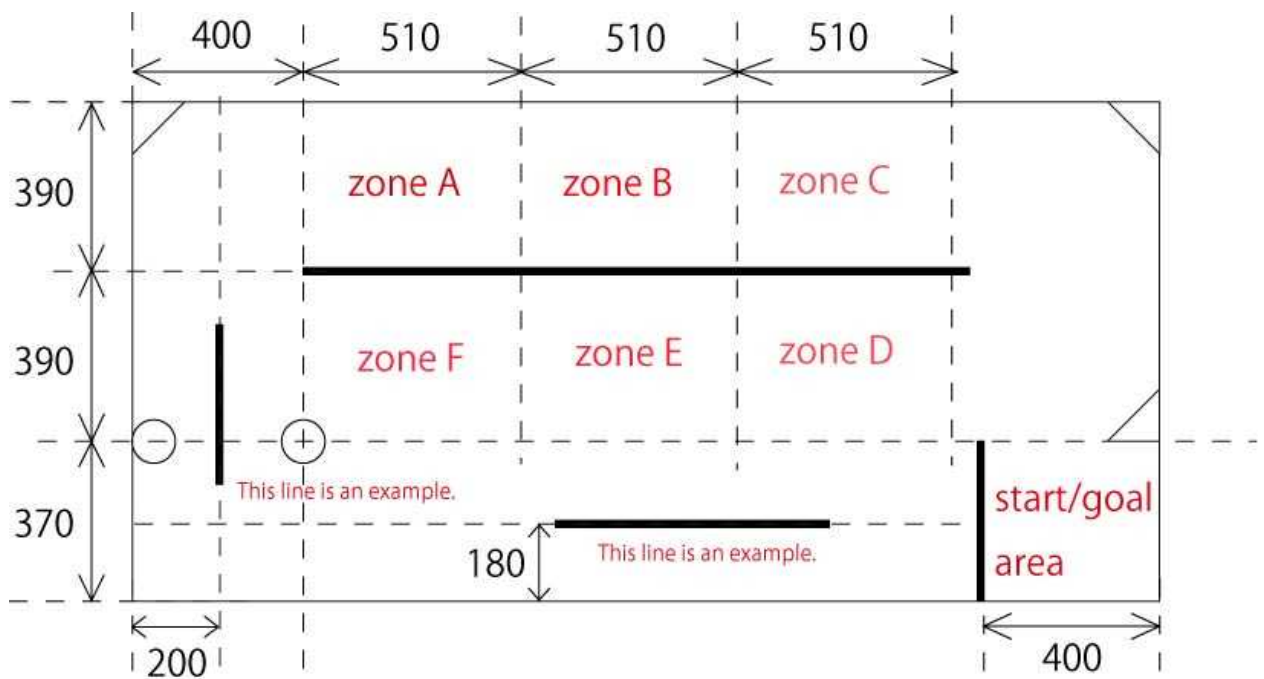
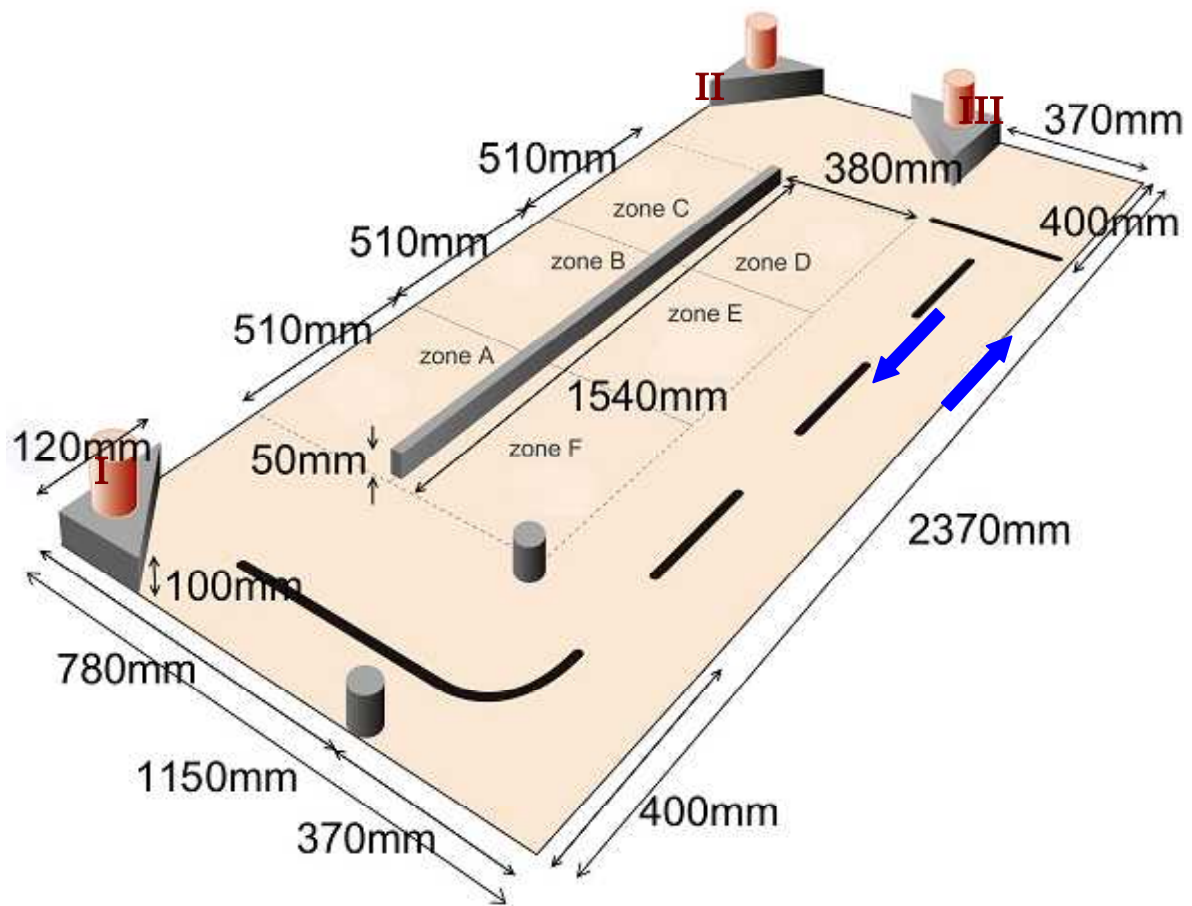


# WRO Japan 2008 横浜地区大会ルール 2008.6.16

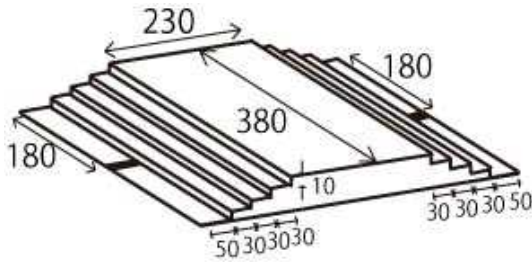
## 1. コート



- 1) コートは2370mm × 1150mm の大きさで、白色を基調としている。黒線は幅18mm、黒丸の直径は100mm。
- 2) スタートエリアとゴールエリアは400mm × 370mm の大きさである。
- 3) 中央の壁は長さ1540mm、高さ50mm の大きさ。三角柱は2辺が120mm の直角二等辺三角形で、高さは100mm の大きさ。
- 4) ゲートのような柱が2本ある。柱の直径は缶と同じサイズ。

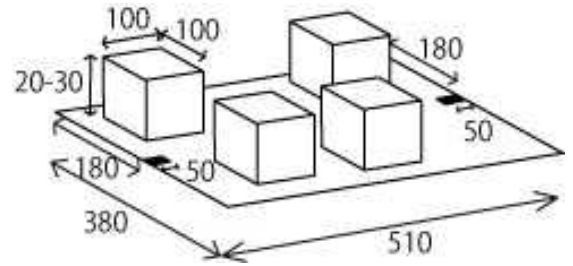
5) A から F までの 6 つのゾーンがあり、510mm × 380mm の大きさである。ゾーンには坂道やトンネルといった課題がある。ゾーンの障害物はイメージとして a) から d) に示す様なものである。障害物の詳細は大会当日に発表される。

a) 丘



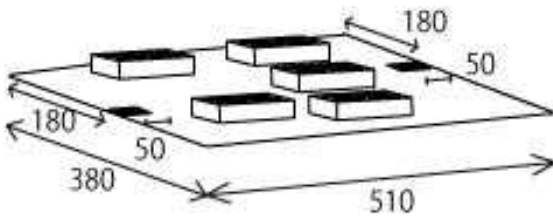
丘の色は白

b) 沼地



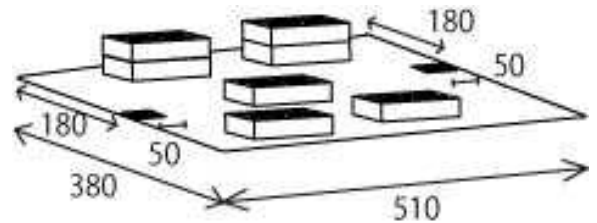
スポンジの色は白で、位置はランダムである

c) さざ波



LEGO ブロックは 2×4 の高さ約 11mm  
色は黒で、位置はランダムである。

d) 荒波



LEGO ブロックは 2×4 の高さ約 11mm  
の 5 つのブロックで構成されている。  
最大 2 段のブロック構成。色は黒で、  
位置はランダムである

- 6) 障害物はコートに固定されている。
- 7) ターゲットは 350ml 缶で、缶の中身は空である。

## 2. ルール

- 1) 競技は 3 分間 (180 秒) でおこなう。
- 2) ロボットはスタートエリアからスタートする。スタート前にはロボットのどのパーツもスタートエリアから出てはいけない。
- 3) ロボットはスタートエリアからスタートし、ゲートを通過してターゲットにチャレンジする。途中 6 つのゾーンを通過し、再びゲートを通過してゴールエリア (= スタートエリア) に向かわなければならない。
- 4) ターゲットの落下順序は決められている。I II III。
- 5) ゾーン通過の順序は決められている。A B C D E F G。
- 6) 定義：
  1. ゲート通過：ロボットの全てのパーツがゲートを通過すること。
  2. 落下：ロボットは三角柱上からターゲットを落とすこと。
  3. ゾーン通過：ロボットが侵入したゾーンの辺からその対辺へ抜けること。

### 3. 得点

ミッションポイントと時間ポイントがある.

#### 1) ミッションポイント

- 1. ゲート通過ポイント(最初のみ) 10点
  - 2. コーナのターゲットを倒す(3か所) 各10点
  - 3. ゾーン通過ポイント(6か所) 各10点
- 計 100点

#### 2) 時間ポイント

スタートしてからゴールするまでのかかった時間(秒)をミッションタイムとして,競技時間(180秒)から引いたものを時間ポイントとする.ゲートを通しなかった場合は0ポイントとなる.

$$\text{時間ポイント} = 180 \text{ 秒} - \text{ミッションタイム}$$

ロボットが競技を途中でリタイアや時間オーバーになった時は,完了しているミッションポイントが得点として与えられる.